

三鷹市立第四中学校 令和5年度【社会】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>◎授業中のメモを取る姿勢はできている生徒が多い。</p> <p>◎小中連携の視点から、都道府県名など基礎事項を小学校で反復学習し、基礎の定着への意識づけはできている。</p> <p>◎ICTの活用は定着しており、簡単なアンケートに答えたり、意見交換をタブレット上で行うことができる。</p>	<p>【現状】</p> <p>◎授業に対して意欲的に取り組む生徒が多く、挙手や発言は活発である。</p> <p>◎大切なポイントなどのメモをとりながら授業を受けることができる生徒が多い。</p> <p>◎グループワークなど、積極的に話し合い活動ができる。</p> <p>【課題】</p> <p>◎既習の知識を活用して考える学習課題に対して、苦手意識をもっている生徒が多い。</p> <p>◎単元の学習の振り返りを行う際、自分の言葉で表現する力を身につける必要がある。</p>	<p>【指導法の課題】</p> <p>◎指示を聞き逃がしてしまったり、理解できなかったりする生徒が見られる。</p> <p>◎疑問に思ったことなどを自主的に調べて深めることが少ない。</p> <p>◎振り返りの際に、要点を押さえて書くことが難しい。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>◎スライドを活用することで視覚的にとらえやすくし、指示を口頭だけでなく、効果的に行う。</p> <p>◎常に理由や背景を確認し、関連付けて考える視点を定着させる。「なぜ」を大切に学習を進める場面を多く取り入れる。</p> <p>◎振り返りを行う際、毎回時間を確保することで定着を図りながら、学習内容のポイントをおさえて記入できるようにしていく。</p>
第2学年	<p>◎授業中のメモを取る姿勢は年間を通して維持することができている。</p> <p>◎複数の資料を関連させる課題の解決には、グループでの活動を活用するなど工夫することで、苦手な生徒が教えあいで理解することができるようになった。</p> <p>◎ICTを活用して協働的な学習を行うことに慣れてきている。</p>	<p>【現状】</p> <p>◎継続して授業に対して前向きに取り組む生徒は多く、発言は活発である。</p> <p>◎単元の学習の振り返りを行う際、重要なポイントを考えてまとめる課題を行っている。</p> <p>【課題】</p> <p>◎自分の学習の深まりを自分で表現することに難しさを感じている生徒が多い。</p> <p>◎学習が困難な生徒が諦めてしまいやすく、粘り強い取り組みができていない。</p>	<p>【指導法の課題】</p> <p>◎教員主導で教える場面と、生徒主体で活動する場面のメリハリがなくなってしまう、苦手な生徒は正解を待ってしまうことがある。</p> <p>◎自分の学習を、明確な視点で振り返り、自分の成長をうまく把握させる工夫が必要。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>◎導入では全員が参加できるものを準備し、取り組みに差が出ないように配慮することで、前向きな姿勢を維持していく。</p> <p>◎単元の見通しをもって学習できるように単元シートを活用し、視点の深まりや視野の広がりを自覚したり振り返ったりすることができるようにする。</p> <p>◎複数の資料を関連付けて考える課題を設定し、グループ活動や教えあいといった協働的な活動を活用して、苦手な生徒を支援する。</p>
第3学年	<p>◎出来事に対し、常に理由や背景を確認し、関連付けて考える視点を定着させる。</p> <p>◎苦手な生徒への机間指導は丁寧に行うことができたが、教員主体の授業になりやすく、生徒が活動する場を増やすことが求められる。</p>	<p>【現状】</p> <p>◎非常に落ち着いて授業に取り組むことができ、意見や考えを表現できる生徒が多い。</p> <p>◎積極的に自分の考えを発信、共有することで、多様な見方が培われている。</p> <p>【課題】</p> <p>◎資料やグラフを活用した問題に苦手意識をもつ生徒が多い。</p> <p>◎現代社会の特色を考えるうえで、明確な根拠をもって自分の考えを構築する力が不十分といえる。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>◎単元の特性もあり、教師主導の場面がやや多かった。</p> <p>◎与えられた課題以上の自主的な学びを設定することが少なかった。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>◎多くの場面で話し合い活動を取り入れながら、他者の発言を大切にしながら自分の考えをより深めるようにする。</p> <p>◎現代社会における「なぜ」を大切に、自分で積極的に調べることを勧めながら、考えの根拠の材料とするよう指導していく。</p>